長門、陸奥の建造期延びるか

八幡製鐵所の同盟罷工事件の解決如何は我海軍の製鐵作業上に大なる關係を及ぼす故當局は八幡に海軍武官を派し狀態を調査せしめつゝあるが怠業が續いて製鐵不能となる時は目下艤裝中の戰艦長門及び橫須賀で近く進水すべき陸奥始め鬼工廠で六七月頃起工すべき四萬噸の大巡洋戰艦其他各艦建造艤裝事業遲延の止むなきに至るであらうと（東來電）

同情する餘地なし

視察して歸京の天宅事務官語る

八幡製鐵所同盟罷業狀態視察の爲め來幡した警保局事務官天宅敬次氏は九日午後五時二十分小倉驛を發し下關七時十分發列車で歸京の途に着いたが八幡から小倉迄自動車に同乘した記者に語る「今回の罷業は最近起つたものゝ中で尤も大きな事件である殊に九州では初めての出來事であるが

罷工の

手段が從來各所に起つた其何れに比しても劣であるので職工等は社會の同情を惹く事が出來ない、出來得べくんば尾なり川崎造船所の

夫れの如く今少し紳士的態度でありたかつた、現に改造說が唱へられ普選促進の運動すら

白熱的

で人の氣分が興奮して居る際同盟罷工を擧行する爲め强迫して迄も多數を賴むが如きは尤も憎む可き造り方で他迄正々堂々の態度で進つて欲しいものである斯くてこそ大社會の同情を惹く事が出來る我國では未だ適當な勞働團體が組織されてゐないので加奈陀又は伊太利の如く工業法律が布いてないから日本の

現狀で

は茲に達する迄には前途尙數年を閱しなければ到底望まれない現在ある勞資協調會の如きは名目は美しいが一面富豪の慢を狙つて居る性質のものであつて要する

作業の妨害をしたり

留守宅を脅かす

九日復業した八幡製鐵所

職工中の不良分子は尙ほも不穩

製鐵所は職工に七、八の兩日公休を與へ鎔鑛爐中央機關其他一二重要工場に必要の千九百八十名の職工を止めたるのみにて工場は至極平穩無事に經過したが休日明けの九日雲助職工出勤者九千名で殆ど平日の通り就業したが未だ全く恢復せず然も勞友會、友愛會所屬職工等は作業の妨害を爲し一方出勤者の留守宅を訪問して家族を脅迫し怠業を勸める樣な運動も有るが七日に白仁長官の發表した回答文に滿足して居る者が多い（八幡電話）

に資本家側と勞働者側との意志の疏通を圖る事が出來て居つたら今回の如き不祥事件も或は起らないで濟んだかも知れない」（下關電話）